

平成23年度第1回中原区区民会議アンケート集計

「地域における子育て応援体制づくり」に向けて区民会議としてできる可能性のあること

取り組み内容（分野）		具体的な実行方法	主体（協力依頼団体）
地域・区民・区民会議の取り組み	現場の実態調査	・区民会議として私たちが出向いて区民の声を聞き、話し合う。 ・区民会議委員には区内の子育てサロンを見学、参加して欲しい。 ・子育て世代にアンケートをとり、現在のニーズを伺い知ることが必要だと思っています。	各中学校区に設置されている「地域教育会議」
	子育て世代などの区民のニーズ把握	・活動団体から、区民会議に求める事を聞く。 ・「町内会連絡協議会」を通して、各町内会で催されているイベントの取り組み状況や町内会への呼びかけをどのように行なっているかのアンケート調査を行う。	
	活動団体のニーズの把握	・委員が所属する子育て支援団体での活動や区役所の子育て支援事業の開催時に積極的に参加する。または広報をお手伝いする。 ・区役所や市民館で開催されている子育て世代の集會等に参加する。	
	各町内会のイベントの取り組み状況、呼びかけ方法の調査	・学校でのあいさつ運動が浸透してきたので、次は公園などで実施してみるのはいかがでしょうか。等々力公園の催し物広場などでイベントが開催されている時などはいかがでしょうか。 ・個人的にも近所のママ、パパに積極的に声かけをしてみたいはかがでしょうか。	
区民と行政の協働の取り組み	子育て世代の集會やイベントに参加（区民会議の委員が所属する子育て支援団体への参加や協力）	・共通意識の確認のためのスローガンを掲げ、ポスターを作成し、子育てにやさしいまち宣言を区民会議で発信する。	
	あいさつ、声かけ運動		
	スローガンの作成		
	活動団体、人材、子ども支援の取り組みの情報の整理と発信 ※保育園や学校のつながり以外に情報等を得る機会を持たせられたらよい	・活動団体や人材の情報の整理。 ・子育て支援ネットワーク会議や子ども支援ネットワーク会議の取り組みをわかりやすく説明し、区民に紹介する。 ・色々な機会を通じて現状の取り組みを整理してアピール、拡散する。 ・子育てサロン等の集會の場がまだもれがあるようで、知らない声も時々聞くので、工夫が欲しい。 ・町会など（身近な所）などに出席して紹介してもらおう。	
	多様な世代、多主体の交流の場の提供	・子育てサロンに中学生に参加してもらい、体験、体感し交流を持つ。 ・学校との連携交流。	
	老人いこいの家との連携	・老人いこいの家（丸子多摩川老人いこいの家は、アクセス、使い勝手が特によい）を月に2回程度、日時を特定して子育て支援に利用できないか。	老人いこいの家
	多世代の交流の場の提供	・ママカフェの考え方をベースに多世代との交流の場づくりを行なう。	
	父親の子育て参加の場の提供	・パパさんサロン開設。	
	親子の交流の場の提供	・親と子を外に連れ出して公園と一緒に遊ぶように区民委員がしたらどうか。	
	イベントの活用、イベントの実施	・中原区のいろいろなイベントを活用する。 ・コミュニケーションが苦手な子どもたちの協調性、主体性を地域行事や祭礼を通して育てていく。 ・桜まつりは中止となったが、子育て支援を基本理念においてイベントを実施できないか（取り組みの紹介の場ともなり、来場者の希望を聞く等今後の対策も検討できる）。	
行政の取り組み	様々な主体との連携体制づくり	・団体同士や個人の連携・つながりを促進させるための提案や調整。 ・地域の商店（子どもの人数、年齢でポイントを考慮する＝経済支援）、企業（物創り支援＝子どもの思考力、創造力の向上支援）の協力を得る。	
	子どもの安心・安全のための取組み	・学童の通学路の安全確保、あいさつ運動、パトロール活動。 ・小学校児童の登下校時の見守り（安全確保）と挨拶の励行。	
	就学世代の子どもと地域の関わりづくり	・「子ども達と地域のきずなの大切さ」をテーマにした講演会の開催。（昨年コミュニティスクールの指定校となった上丸子小学校の校長先生にお願いする。）	
行政の取り組み	ボランティア体験の提供	・ボランティア体験の提供。 ・保育士のライセンスをとるために学校に通っている人達を子育ての場所にきて実習してもらい、ボランティアをやらせれば、将来子育てのリーダー的存在になると思う。	
	現状の支援策の検証や活用	・子育て支援策の拡充（例えばママカフェの会場拡大に向けた取り組み）など各種団体や企業等にも相談するなど、地域への浸透を図る。 ・子どもに関する相談ことは、区役所子ども支援室の相談窓口につなぐ。 ・子どもたちの居場所づくりと、「子ども文化センター」や「わくわくプラザ」の、利用状況の検証。	

平成23年度第1回中原区区民会議アンケート集計

「地域における子育て応援体制づくり」として「とどろきアリーナ」の避難生活者にできること

取り組み内容（分野）	具体的な実行方法	主体（協力依頼団体）
<p>地域・区民・区民会議の取り組み</p> <p>避難生活者のニーズの把握 ※しばらく（1～2ヶ月）は様子を見てから具体的な行動でもよい ※避難生活者のニーズにあったイベントの提供、希望に応じることが適切 ※押し付けがましくならないよう、細心の注意は必要 区民会議の委員がそれぞれの分野で活動を行う</p>	<p>・避難生活者のニーズの把握を優先する。 ・避難生活されている方と雑談をしてその中からヒントを得ることがよい。 ・子育てサロン等を行い、相談相手になり、いろいろな課題の抽出をする。 ・気軽に声をかけていただけるきっかけづくりとして子ども同伴の茶話会。 ・委員の中に子育て等に関係している団体の方をお願いする。区民会議としては必要な事柄のバックアップをする。 ・公園井戸端会議プロジェクトをお願いする。 ・地域のパフォーマンス、社協等の体操、個人的なパフォーマンス等々、細く長くおつきあいでいく。</p>	<p>子育て等に関係している団体の方 子育て等に関係している団体の方 公園井戸端会議プロジェクト</p>
<p>区民と行政の協働の取り組み</p> <p>子育て支援 食事会や地域活動などを通じて一緒に交流するスタンスでいろいろな取り組みを行なう</p>	<p>・3階のプレイルーム、体育室を利用した子育てサロン。 ・地域の子育てサロンを紹介する。 ・プレイルームで紙芝居、遊戯や親子体操など。 ・母親から子どもさんをあずかれば、ホッとできる時間ができるのでは？ ・地域活動と一緒に参加していただくことによって支援につながることもあると思います。 ・区の取り組み紹介や体験の機会を提供する。 ・一緒に食事会などを開いて懇親を深めてはどうか。 ・中原区役所へ招待し、4階で懇親会を持つようにしたいと思う。 ・各種イベントの案内、紹介をする。 ・交流するための取り組みを行なう。コンサートなどイベントの実施（ブラバンや合唱部に要相談）。 ・ミニコンサート（子ども向け、大人向け色々）。 ・中原区の有名な歌手および有名な吹奏楽団を読んでイベントを開催する。 ・区老連のイベント（グランドゴルフ、ゲートボール大会）を早めに開催し、避難生活者を特別参加させる。 ・区民祭のお祭り広場のイベント（例えば盆踊り）を開催する。南相馬の方が多い。 ・イベント主催者として、郷土料理の講習を開いていただく（受動的でばかりいるよりも、能動的であった方が心身のケアを考える時にはとても効果的では。イベントのサポートは充分に行う。） ・中原区の魅力を伝えられる様なツアー（ガイド付きの散歩）</p>	<p>子育て等に関係している団体の方 ブラバンや合唱部 区老連 など</p>
<p>日常の生活に必要なものの支援、情報提供</p>	<p>・育児、老人（民生）、町の案内、学校、教育、文化面などで相談にのってあげ、チラシや案内状を置くのはいかがでしょうか。 ・野菜が不足していると聞いています。野菜を中心とした家庭料理をつくらせてあげる。またはつくってあげる。 ・地域の浴場（丸子温泉の黒湯）に入浴してもらう無料チケットを配布する。</p>	
<p>心のケア</p>	<p>・自ら体を動かし、不安な考えを除去できる支援。 ・現在中原区内で活動しているカウンセリング研究会があります。この研究会等に活動するよう依頼すれば効果があると思います。 ・避難生活者の笑いが出るようなもの（中原地域の民話、紙芝居。リバイバル映画。）。 ・近隣に土に触れられる場所を確保し、ミニ菜園に取り組んでいただく（心身のストレスを軽減させるために自然とふれあえる様な場を確保し、リズムのある日々を提供していくことが大切では）。</p>	<p>中原区内で活動しているカウンセリング研究会</p>
<p>就労支援</p>	<p>川崎市に本社、工場のある企業で東北地方にも工場を有している企業がありますので、川崎で働き、帰郷後、東北地方で就労できる支援の手伝いまたは地域の環境関係の業務支援、今まで取得された農業技術を川崎の農業関係者に伝授していただく方法など。</p>	<p>企業</p>
<p>その他</p>	<p>・ボランティア活動は経験が豊富なスタッフが必要。</p>	